

農業競争力強化農地整備事業
(農地整備事業【経営体育成型】)

土地改良事業計画変更(第1回)概要書

(区 画 整 理)

県 地 所 事 業 主 体
名 区 在 地 主 体
岩 上 奥 岩
西 州 手
手 風 市 県

土地改良事業計画概要書

— 目 次 —

変更前後

第1章	目的	1
第2章	地域の所在及び現況	1
第1節	地域の所在	1
第2節	現況	2
第3節	水利状況	4
第4節	営農状況	4
第5節	地域環境の概況	5
第3章	基本計画	6
第1節	計画の要旨	6
第4章	工事又は管理の要領	7
第1節	工事の施工計画	7
第2節	管理の要領	7
第3節	予定工期	7
第5章	換地計画の要領	7
第1節	換地計画樹立の必要性	7
第2節	換地計画樹立の基本方針	7
第3節	土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積	8
第4節	非農用地の換地方法	9
第6章	費用の概算	10
第7章	効用	11
第8章	他の事業との関係	11
第9章	計画概要図	11

第1章 目 的

上段：変更後

下段：変更前

本地区は、奥州市江刺広瀬に位置し、一級河川広瀬川沿いの段丘にある水田地帯である。

営農形態は、水稻を中心としているが、飼料作物の作付も行っている。

農地状況は、昭和30年代の積雪寒冷地帯土地改良事業広瀬地区の一部、昭和30～40年代の非補助土地改良事業猿ヶ石地区の一部及び昭和40年代の構造改善事業中内地区の一部で整備されているものの、10a～20aと小区画である。

また、地区内の小用排水路のほとんどが土水路となっており、維持管理に多大な労力を費やしているほか、農道の幅員もほとんどが2m程度と狭小で大型機械の通行が困難であることから、効率的な営農の展開が不可能な状態となっている。

これらを解決するため、本事業により高生産性ほ場を整備し、営農や維持管理等の省力化を図ると共に、担い手への農地集積を推進し、農業経営の安定化を図るものである。

地 積

(単位：ha)

現況地目 市町村名	水 田	普通畑	樹園地	計	道水路等	その他	合 計
奥州市	26.9	0.2	〃	27.1	6.5	0.7	34.3
	29.7	0.4	—	30.1	7.1	0.8	38.0

第2章 地域の所在及び現況

第1節 地域の所在

岩手県 奥州市江刺広瀬 地内

第2節 現 況

上段：変更後

下段：変更前

第1項 地形、地質及び土壌

本計画地域は標高82～136mに位置し、地形勾配は南から北に1/20程度の傾斜を成している。

地質は水積、崩積による非固結水成岩及び固結水成岩で、灰色土壌粘土構造型（F50）、黄褐色土壌強粘土型（I81-2）、礫層土壌粘土型（J91）となっている。

第2項 気 象

(1) 一般気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成31年3月版)

観測所名	江刺地域気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計 又は平均	備 考
観測期間	M41～H29年	5月～8月	9月～4月		
平均気温(℃)		21.0℃	6.7℃	11.4℃	
降水量	平均(mm)	472.3mm	708.3mm	1,180.6mm	
	基準年(mm)	—mm	—mm	—mm	
降水日数	平均(日)	43日	89日	132日	
	基準年(日)	—日	—日	—日	
根雪期間		—月—日～—月—日		—日間	
無霜期間		4月28日～—月—日		181日間	
最多風向		NW	最大風速 (風向)	16.2 m/s (WNW)	最多風向発生時期 最大風速発生年月日 H27.2.27

※ 最大風速のデータは気象庁のホームページによる。

(2) 特殊気象

上段 : 変更後
下段 : 変更前

”(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成31年3月版)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
江刺地域気象観測所	1位			2位			3位			4位			5位			
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
M41年～H29年																
最大日雨量 (mm) S44年～H29年	216.0	H13.8.1	-	158.0	S62.8.17	1/132	132.0	H14.7.11	1/42	112.0	H23.9.21	1/16	104.0	H14.8.11	1/11	
最大時間雨量 (mm) S44年～H29年	48.0	S52.7.18	1/80	46.0	S48.6.14	1/57	38.5	H24.9.19	1/17	37.0	S44.9.7	1/13	36.0	H13.8.1	1/11	
最大4時間雨量 (mm) S44年～H29年	114.0	H13.8.1	1/280	113.0	H13.8.1	1/261	95.0	H13.8.1	1/69	74.0	S52.7.18	1/14	73.0	H14.7.11	1/13	
最大3日連続雨量 (mm) S44年～H29年	230.0	H13.8.2	1/120	229.0	H13.8.1	1/117	223.0	H13.8.3	1/98	197.0	H14.7.11	1/45	184.0	H10.8.31	1/30	
最大連続旱天日数 (日) S44年～H29年	38	H6.7.12	1/953	38	S59.7.20	1/953	30	H15.5.1	1/28	28	H23.7.2	1/14	27	H16.7.21	1/10	

第3節 水利状況

第1項 用水状況

本地区の用水は、田瀬ダムを水源とする国営猿ヶ石用水水利事業で整備された東部幹線用水路を経て県営農業水利システム保全整備事業で整備された松長嶺地区用水路からかんがいする系統、一級河川広瀬川を水源とし、同じく国営猿ヶ石用水水利事業で整備された北部幹線用水路を経由して注水された補水とともに西風頭首工よりかんがいする系統のほか、地区に隣接するため池よりかんがいでいる。

地区内の小用水路は、維持管理等で一部装工されているが、ほとんどは土水路で断面も一定ではなく、用排兼用となっている。そのため、土壌浸透による損失や崩落による断面阻害も生じており、水管理及び維持管理等に多大な労力と経費を費やしている。

第2項 排水状況

本地区の排水は、地区内の小排水路から一級河川広瀬川、普通河川鴨沢川及び普通河川大松川へ排水される。

地区内の小排水路は、土水路で用排兼用となっており、水路底が浅く、表面水のみが排水可能な状況であるため、水田の汎用化が行えない状況となっている。また、法面の崩落等による通水障害も生じており、維持管理に多大な労力と経費を費やしている。

第4節 営農状況
専業別農家数及び平均経営耕作面積

2020 農林業センサス
2015 農林業センサス

戸数		項目	専業	第一種兼業	第二種兼業	計	一戸当たり平均経営耕作面積	田	普通畑	樹園地	その他	計	地域指定等
								ha	ha	ha	ha	ha	
専業別	奥州市	戸数	1,851 戸	807 戸	5,133 戸	7,791 戸		1.64 1.53 ha	" 0.18 ha	" 0.03 ha	" -	1.85 1.74 ha	" 農振 S45.3
		割合	23.7 %	10.4 %	65.9 %	100 %		88.7 88.0 %	9.7 10.3 %	1.6 1.7 %	" -	" 100 %	" 過疎 H18.2
	本地区	戸数	" 4 戸	" 2 戸	" 30 戸	" 36 戸		" 0.83 ha	" 0.01 ha	" -	" -	" 0.84 ha	" 山振 S44.12
		割合	" 11.1 %	" 5.6 %	" 83.3 %	" 100 %		" 98.8 %	" 1.2 %	" -	" -	" 100 %	" 特農指定 H5.9

上段：変更後
下段：変更前

経営農用地広狭別農家数

2020 農林業センサス
2015 農林業センサス

区 分	農 家 総戸数	経営農用地広狭別農家数										耕地の分散状況		一戸当たり 平均耕地面積	
		経営耕 地なし	～ 0.5ha	0.5ha ～ 1.0ha	1.0ha ～ 1.5ha	1.5ha ～ 2.0ha	2.0ha ～ 3.0ha	3.0ha ～ 5.0ha	5.0ha ～ 10.0ha	10.0ha 以上	自給的 農家	一戸当たり 団地数	団地当たり 面 積		
〃	8,200	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,127	〃	〃 a	185 a
奥州市	10,189	18	1,019	2,272	1,543	1,028	1,003	534	264	110	2,398	—	—	—	174

第5節 地域環境の概況

〃
本地区は田園風景と自然環境が調和し、地域住民に潤いと安らぎの場を提供している。また、地域内には、「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデータブック」に登載されている希少動植物の生育・生息が確認されている。

第3章 基本計画

上段：変更後

下段：変更前

第1節 計画の要旨

本地区は、昭和30年代～40年代に耕地整備されているものの、区画規模は10a～20a程度と小区画であるうえ、農道の幅員もほとんどが2m程度と狭小で、大型機械の通行が困難であることから、効率的な営農の展開が不可能な状態となっている。また、地区内の小用排水路のほとんどが土水路となっており、維持管理に多大な労力を費やしている。

このため本事業では、A=29.4ha^{26.1}に対し区画整理を行い標準区画30a～80a^{5.2}のほ場を整備する。また、農道は支線道路L=6.4km^{5.3}を標準幅員5～3mの敷砂利舗装に、用水路はL=5.7km^{5.6}をパイプライン及びベンチフリュームにて整備する。排水路はL=5.5km^{26.1}を鉄筋コンクリート二次製品にて整備するとともに、暗渠排水A=29.4ha^{26.1}を併せ行い乾田化を図る。

これらの整備により、営農及び維持管理等の省力化を図ると共に、担い手への農地集積を一体的に推進して、農業経営の安定化を図るものである。

環境との調和への配慮として、地区内で生息が確認された保全対象種については、有識者委員の指導・助言を得ながら、工事施工前に地区に隣接した生息環境が類似している箇所を利用し移植・移動する。また、景観を阻害しないように現地形に沿った区画設計とし、農村景観への影響を最小限にする。

事業計画一覧表

種 別	事 業 量	摘 要
区 画 整 理	整地工 26.1 29.4 ha	表土扱い 26.1 A=29.4ha
	道路工 5,151 6,430 m	A=5.0 (4.0) // C=3.0 (2.5) 砂利道 B=5.0 (4.0), B=4.0 (3.0), B=3.0 (2.5)
	用水路工 5,273 5,697 m	// 管水路(塩ビ管)75～450m/m、鉄筋コンクリートベンチフリューム300型
	排水路工 5,572 5,480 m	// 鉄筋コンクリート排水フリューム水路 300×300～800×800、鉄筋コンクリート大型フリューム水路 1600×1000
	暗渠排水工 26.1 29.4 ha	// 吸水渠H=0.6m φ50～60m/m、集水渠 H=0.6m φ50～65m/m

第4章 工事又は管理の要領

第1節

工事の施工計画

- ”
1. 工事は、全て県営事業による請負工事とする。
 2. 施工は、農業土木工事共通仕様書によるほか、特記仕様書による。

第2節

管理の要領

”
施工後の諸施設の管理は、農業用道路は奥州市、農業用排水施設は江刺猿ヶ石土地改良区が行う。

第3節

予定工期

” 令和9年
令和3年～令和8年

第5章 換地計画の要領

第1節

換地計画樹立の必要性

”
本事業により実施する区画整理がより生産性の高い農業の実現に資するよう、担い手への集積、集約化を見据えた換地計画を樹立する必要がある。

第2節

換地計画樹立の基本方針

第1項 従前地の地積の基準

”
換地交付の基準とする従前土地の地積は、土地改良事業計画の決定の日の登記簿地積とする。但し、上記の日から2ヶ月以内に測量士等の資格者が測量した実測図に、隣接所有者の承諾書を添付して申出があった場合は、その申出の地積とする。

上段：変更後

下段：変更前

第2項 農用地集団化の方針				
区分 換地区	地帯別グループ 別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当たり目標団地数	区画畦畔の取り扱い
〃 上西風	〃 営農グループ別 集団化	〃 予め特殊地の選定を行った後、各人の従前の土地が最も密集した位置を基本とするが、育成すべき担い手の経営農用地を中心として農地の集約が図れるように配慮する。	〃 1～3団地	〃 移動畦畔

第3項 清算の方法

〃
比例地積清算方式

第3節 土地改良法第5条第6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積

(単位：ha)

用途	公用公共用地				一般国有地	合計
	国有地	県有地	市町村有地	計		
公衆用道路	〃 -	〃 -	2.8 3.1	2.8 3.1	〃 -	2.8 3.1
用悪水路	〃 -	〃 0.0	〃 1.0	〃 1.0	〃 -	〃 1.0
計	〃 -	〃 0.0	3.8 4.1	3.8 4.1	〃 -	3.8 4.1

上段 : 変更後
下段 : 変更前

第6章 費用の概算

単位：千円

事業名	総事業費		負担内訳				備考
	費目	金額	国費 (55%)	県費 (30%)	地元負担 (15%)		
					市町村 (10%)	農家 (5%)	
農業競争力強化農地整備事業 (農地整備事業【経営体育成型】) 〃 (区画整理)	事業費	1,046,000 919,000	575,300 505,450	313,800 275,700	104,600 91,900	52,300 45,950	
	工事雑費						
	事務費						
	計	1,046,000 919,000	575,300 505,450	313,800 275,700	104,600 91,900	52,300 45,950	

上段 : 変更後
下段 : 変更前

第7章 効用

区 分	全 体 (千円)		区画整理 (千円)		備 考
	便 益 額	所 得 額	便 益 額	所 得 額	
農業生産向上効果 (作物効果)	9,463 10,547	3,889 4,338	9,463 10,547	3,889 4,338	
農業経営向上効果 (営農経費)	57,278 55,397	61,026 59,055	57,278 55,397	61,026 59,055	
農業経営向上効果 (維持管理)	△ 1,086 △ 487	177 702	△ 1,086 △ 487	177 702	
農業の持続的発展に関する効果 (耕作放棄防止効果)	〃 0	〃 -	〃 0	〃 -	
その他効果 (国産農作物安定供給効果)	2,388 1,929	〃 -	2,388 1,929	〃 -	
合 計	68,043 67,386	65,092 64,095	68,043 67,386	65,092 64,095	総費用総便益比 = 1.07 1.23

第8章 他の事業との関係

該当なし

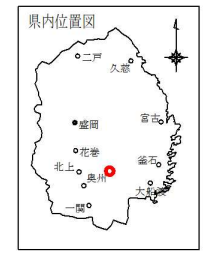
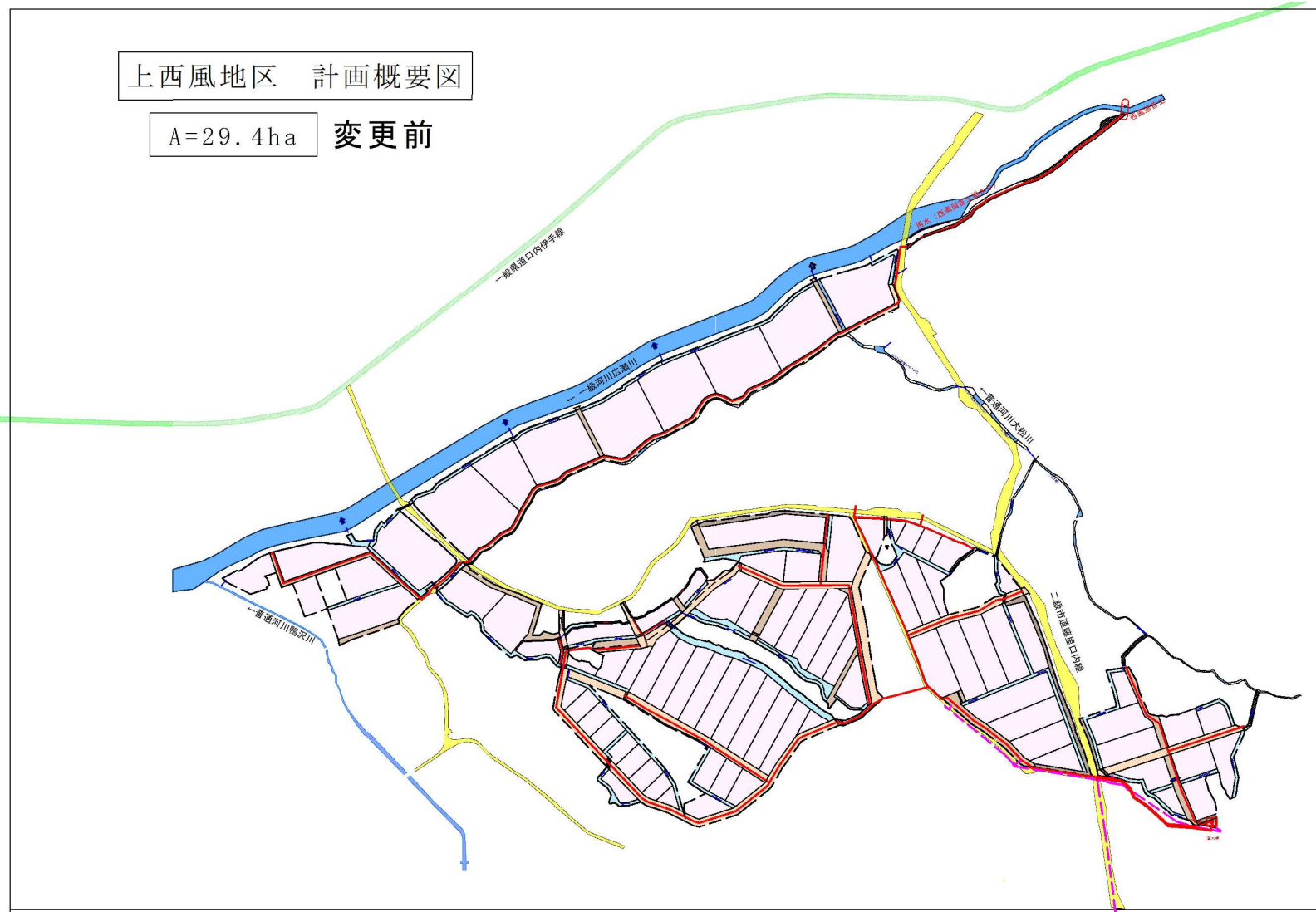
区分	事 業 名	事業主体	受益面積	工 期	事業費 (百万円)	前年度までの 進 捗 率	事業との関連
異 種	〃 国営猿ヶ石用水農業水利事業	〃 国	〃 3,920 ha	〃 H4～H13	〃 18,850	〃 100 %	〃 基幹用水路
	〃 県営新農業水利システム保全整備事業松長嶺地区	〃 岩手県	〃 237 ha	〃 H12～H22	〃 682	〃 100 %	〃 基幹用水路

第9章 計画概要図

〃
別 添

上西風地区 計画概要図

A=29.4ha 変更前



凡例	
地区界	地区界線
水田	農道(農道土)
水田	雑種地
計画道路 (全幅5.0m 敷砂利幅4.0m)	計画道路 (全幅4.0m 敷砂利幅3.0m)
計画道路 (全幅4.0m 敷砂利幅2.5m)	計画用水路 (パイプライン)
計画用水路 (排水路)	計画小排水路 (排水路)
計画支線排水路 (排水路)	施設新排水路
排水路下方	HP(○) 施設構造等
埋蔵文化財発見位置	河川決壊 (既設利用)
河川決壊 (改修)	用地買収

